

放送大学愛知学習センター／NPO法人都市の木質化プロジェクト

オンライン連続講座 『森林資源で地域の未来を考える』

～ ご案内 ～

この連続講座は、我が国の森林資源を活かすことで持続可能な森林と都市の実現に向けた将来構想について考える目的で実施いたします(3回連続)。都市の木質化を通じた森林と都市の将来は、森林資源産業の成立が鍵になります。林業の産業化・都市木造の意義・SDGsなどとの関連から地域の未来について考えます。奮ってご参加ください。

開催日時

アーカイブ配信は
ありません

2021年 オンラインライブ配信

《第1回》10月30日(土)

《第2回》11月21日(日)

《第3回》12月4日(土)

いずれも 14:00～15:30

参加費 無料

定員 100名

1回のみのご参加でも
お申し込みいただけます。

キーワード 産業、地元力、地域資源、都市木造

プログラム

ご挨拶 放送大学愛知学習センター長 氏家達夫

趣旨説明 連続講座「森林資源で地域の未来を考える」について
放送大学客員教授/NPO法人都市の木質化プロジェクト理事長 佐々木康寿

《第1回》10月30日(土) 「講演会：林業の産業化と地域の未来」

京都大学 諸富 徹氏

我が国の脱炭素目標の達成や森林整備を図るための地方財源を確保する制度が整備されたことなどから森林資源の経済的価値の高まることが期待されています。ここでは我が国の豊富な地上資源を基盤とする林業の産業化と地域の未来について考えます。

《第2回》11月21日(日) 「シンポジウム：公益的施設の木造木質化と地域資源の調達」

建築家 鶴飼浩平氏、建築家 東海林修氏、豊田森林組合 山田政和氏

地域の森林資源を地域の人材と技術力で利用促進するなら、地元力および地域経済を増強することができます。ここでは愛知県における公益的施設の木造木質化事例を取り上げ、地域資源の利用・流通調達の多様性について考えます。

《第3回》12月4日(土) 「討論会：バイオコミュニティを駆動する都市の木質化」

名古屋大学 藤原啓税氏、福島和彦氏、山崎真理子氏

我が国の森林を加速度的に整備し、脱炭素目標を達成するための有効策として国産木材を都市部の中高層建築に大量投入することが考えられます。ここでは中部地区をフィールドの一例として地域の資源・技術・人材を生かすことで経済の一翼を担うビジョンを考えます。

※プログラム・内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

共催 放送大学愛知学習センター、NPO法人都市の木質化プロジェクト

後援 愛知県、愛知県森林組合連合会、(一社)愛知県木材組合連合会、(一社)日本建築学会東海支部、(株)木材工業新聞社

お申し込みは▶

<https://forms.gle/vpbmgrPZ52c8akV8A>

申し込み締切/2021年10月15日(金)



お問い合わせ

NPO 法人都市の木質化プロジェクト事務局
メールアドレス woodismcity@gmail.com

登壇者紹介

第一回



諸 富 徹

京都大学大学院 経済学研究科/
地球環境学堂 教授

2010年から現職。2017年より地球環境学堂教授、2021年より教育研究評議会評議員および経済学研究科副研究科長を併任。
主著に『環境税の理論と実際』有斐閣(2000年)など。

第二回



鵜 飼 浩 平

withU architects 一級建築士事務所/
NPO都市の木質化PJ正会員

2007年より株式会社東畑建築事務所で設計監理に従事。2019年よりwithU architects 一級建築士事務所を主宰。地域産木材をつかった中大規模木造建築の設計監理の機会に恵まれ、「豊田市立高嶺こども園」など、木材の活用を流通から施工までを意識した設計を行っています。



東 海 林 修

東海林建築設計事務所/
NPO都市の木質化PJ正会員

阪神震災後木構造の耐震性能に疑問を持ち、伝統構法を調査。その結果から「板倉構法」にたどり着き、土壁と板倉構法の住まいを提供しています。現在、「学童施設」の木造化に取り組み、全国に情報発信をしています。



山 田 政 和

豊田森林組合/
NPO都市の木質化PJ正会員

高校卒業後、旧小原村森林組合に就職し伐採作業と製材を学び25年になります。現在は木材や自然の魅力を伝えたいという思いから木の玩具作りや簡単な工作キットを販売したり、生木を削り身の回りの品作りも行っています。

第三回



藤 原 啓 税

名古屋大学
イノベーション戦略室 特任教授/
ナゴヤイノベーションズガレッジ事務局長

赤道直下から白夜の国まで4カ国海外駐在。多様な人々との交流、多様な生活様式を体験。日本の田園や森林風景には固有の良さがあると再認識。気候危機が声高に言われる現代に日本発の解決策がないものか悪戦苦闘で思案中。



福 島 和 彦

名古屋大学大学院
生命農学研究科 教授

1961年、愛知県生まれ。木材成分であるリグニンの化学構造を細胞壁形成の観点から研究しています。1995年に仏国立農業研究機構に滞在し、リグニン構造解析を学ぶと同時に、互いの学問分野を尊重する文化を学びました。



山 崎 真 理 子

名古屋大学大学院
生命農学研究科 准教授

木材のマテリアル利用に軸足を据え、材料学・環境工学をベースに、森林資源のサステナビリティと地域社会再生、大径材の力学性能評価、木質構造物における部材の残存強度評価など、木材・木造建築に関わる研究成果を数多く発表しています。

■ オンライン連続講座について

- 参加を希望される方は、次のURLよりお申し込みください。(<https://forms.gle/vpbmgrPZ52c8akV8A>)
- お申し込みいただいた方には、視聴ページのURLを開催前日までにメールアドレス宛にお送りいたします。
- 当日は開始10分前までに視聴ページにお越しいただき視聴確認をお願いいたします。

■ 注意事項

- 視聴ページのURLを第三者に提供することは禁止いたします。
- オンライン講座の録音・録画・撮影は禁止いたします。
- 登壇者、および他の参加者への中傷、脅迫、いやがらせに該当する行為はおやめください。
- 上記禁止事項が認められた場合、今後のセミナー等へのご参加をお断りする場合がございますのでご了承ください。